

鹿児島, 2020. 02. 22

家族のかたちと不妊治療ストレスについて

友崎薫¹、橋本知子²、杉本朱実¹、皆吉田津子²、森本義晴¹

¹ HORAC グランフロント大阪クリニック、²IVF なんばクリニック

【背景・目的】

平成 29 年度の厚生労働省の調査によれば平均初婚年齢は夫 31.1 歳、妻 29.4 歳と晩婚化が進んでいる。それは再婚年齢の上昇ももたらし平均再婚年齢は夫 43.3 歳、妻 40.1 歳となっている。「夫妻とも再婚又はどちらか一方が再婚」の全婚姻件数に占める割合は平成 17 年度に全体の 4 分の 1 を超えた。このような社会背景は複雑な家族状況を抱え治療を行うカップルの存在が示唆される。家族関係の複雑さは不妊治療を行う際の困難やストレスにつながっていないか調査し治療しやすさやストレス低減につなげる事を目的とし本研究を行った。

【対象と方法】

婚姻や家族関係、不妊治療に対するストレスなど質問紙法を用い回答の提出をもって本研究への参加承諾とした。データ処理にあたっては質問紙に欠落があっても除外せず設問ごとの有効回答における割合を求めた。2019 年 10 月 15 日～11 月 30 日にかけて当院と関連クリニックに来院した患者に対して看護師説明時に 350 部を配布し 200 部の回答を得た。回収率は 57%であった。

【結果】

回答者カップルの婚姻について記入されていた 191 組(女性 37.4±2.1 歳・男性 39.2±1.4 歳)のうち「夫婦とも初婚」カップルは 149 組(女性 36.7±2.1 歳・男性 38.1±1.4 歳)で約 78%、「夫婦とも再婚又はどちらか一方が再婚」カップルは 42 組 (女性 40.1±5.0 歳・男性 43±7.1 歳)で約 22%であった。その 42 組のうちステップファミリーは 5 組で離別した家庭に前婚姻子があるカップルは 9 組あった。

【考察】

治療中の再婚カップルの平均年齢は初婚同士カップルより高い。全女性回答者から見た女性ストレスは男性より大きい。再婚カップルの家族状況は様々で個別事情により治療へのストレスが変化する。複雑な個別の家族事情を抱える再婚カップルが存在しその心理的支援が今後の課題である。